



# 東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園  
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園  
発行日 令和4年6月30日  
発行者 園長 末永 寿宣

## 7月号

## 「10の姿」③協同性

～互いのよさを認め合うために～

園長 末永 寿宣

子どもたちは、思いを伝え合ったり、試行錯誤したりしながら、一緒に活動し楽しむことで、喜びを味わいます。友だちとの関わりの中で「共通の目的」を実現するために、協力したり、工夫したりする経験によって「協同性」が育まれます。

本園では、園生活の中で、友だちと言葉のやりとりをすることで、イメージを共有したり、共通の目的をもって遊びを楽しんだりするとともに、子どもたちが、お互いのよさを認められるように教育環境を整えています。それでは、その実践の一端を6月の活動の中からご紹介します。

### 3歳 もも組

テントの家に入って、「海に来たみたい」「ああ気持ちいい」と海水浴気分です。

興味のある遊びに熱中し、集中力を高めています。友だちを意識した遊びが増えました。



遊戯室では、フラフープをハンドルに見立ててドライブしたり、マットの片づけをみんなで「よいしょ」と声を合わせたりして運んでいます。



また、チョウのサナギが羽化し、羽をバタバタと震わせている姿を見て「早く出してあげよう」と園庭でチョウの旅立ちをみんなで見届けました。「また戻ってきてね」と優しい言葉をかけていました。

ザリガニがもも組にやってきたときには、ザリガニの絵本を用意しておく、さっそく絵本を手にとって、友だちと見ていました。

友だちと言葉のやりとりをすることで、イメージを共有したり、共通の目的をもって遊びを楽しんだりしています。子どもたちが、お互いのよさを認められるように教育環境を整えています。

## 4歳 たんぽぽ組



新しく「木鬼」という鬼ごっこを発明しました。鬼に捕まっても味方がタッチしたら、すぐに逃げられる氷鬼とは違い、足の間をくぐって助けるため、「誰か助けて!」「今のうちだよ!」と、友だち同士で声を掛け合いながら、逃げたり助けたりして遊んでいます。

先生がハンドルを作ると、子どもたちで椅子を並べ、バスごっこが始まりました。歌に合わせて体を傾けたり、お客さんになってバスに乗ったり降りたりすることを楽しんでいました。

テラスでは、クレープ紙を使って「色水遊び」をしました。様々な色を繰り返し作ったり、水に色がついていく様子を楽しんだりしました。赤色と青色のクレープ紙を混ぜて、「見て!紫になった」と色の変化に気づいていました。

## 5歳 すみれ組

園庭の砂場では、川や池づくりをして遊んでいます。水に濡れないように座って遊ぶことが上手になってきました。友だちと力を合わせて遊ぶことの楽しさを実感しています。

チョコバナナ作りでは、チョコに見立てた絵の具を塗ったり、18本のバナナを9本ずつに分けるなど、遊びの中で数の基本にも触れるようにしています。

「綿あめづくり」では、綿の素材を準備すると、「おいしそう」「食べたいね」と友だちとの会話を楽しんでいます。また、遠足では、たんぽぽ組さんの面倒をよく見ていました。

本園では、10の姿における「協同性」を育むために、子どもたちに援助しすぎないようにすることを意識し、子どもたちの発達段階や個性を考慮して適切な働きかけを心がけています。今後も子どもたちが、協力したり、工夫したりする経験を充実させてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

